

基本構想
(目指すべき将来像)

さらなるごみの減量・リサイクルによる
「資源循環型社会の構築」

ごみ処理の課題

1) ごみの発生抑制と再利用(2R)の推進

2) 資源化の徹底、3) ごみ処理事業の効率的かつ経済的な運営、
4) 適正なごみ処理体制の維持、6) 温室効果ガスの削減、
7) ごみに関する社会情勢の変化への対応

5) 市民・事業者・行政の協働

基本方針

(市の現状・課題を背景に設定)

【課題1】

【課題2】

【課題3,4,6,7】

基本方針 1 「減らす」

ごみの発生抑制と再利用(2R)を優先的に進めます

資源やエネルギーを必要とする「リサイクル」よりも優先すべき対策であるごみの発生抑制と再利用の取組を進めます。

基本方針 2 「分ける」

ごみの分別と資源化を徹底します

ごみの発生抑制と再利用の取組を進めてもなお発生するごみを適正に分別するために、市民に分かりやすい区分によって適正に分別し、可能な限り資源化することを徹底します。

基本方針 3 「安心できる」

環境負荷の低減に努め、効率的かつ経済的なごみ処理を目指します

収集から最終処分までの各過程において、温室効果ガス排出量の削減や環境汚染物質の発生抑制などの環境負荷の低減に努め、効率的かつ経済的な事業運営を目指します。

数値目標

目標 R14 年度

数値目標
行動目標

① 家庭系ごみの減量目標

目標の目安
R1比で市民1人1日当たり
68.3g(12.3%)程度減量

- ① 家庭から出る食品ロス削減
- ② リサイクル率の向上
- ③ 容器包装プラスチック類・古紙類の分別

② 事業系ごみの減量目標

目標の目安
R1比で市民1人1日当たり
14.2g(5.5%)程度減量

- ① 事業所から出る食品ロスの削減
- ② 古紙類の分別

③ ごみの埋立処分量の削減目標

目標の目安
R1比で市民1人1日当たり
2.5g(3.0%)程度減量

基本施策

(目標達成に向けた取組)

基本施策 1

2Rを推進するための仕組みづくり

基本施策 2

持続可能な分別・収集・処理体制の確立

案

案

- 重点施策 1-1
指定袋無料配布の見直し
(家庭系ごみの減量インセンティブ)
- 重点施策 1-2
リユース市場の拡大促進
(粗大ごみや破碎ごみ類の再利用)
- 重点施策 1-3
ごみ処理手数料の見直し
(事業系ごみの減量インセンティブ)

- 重点施策 2-1
市民に分かりやすいごみ分別
(プラスチックの分別の簡素化)
- 重点施策 2-2
収集日の統合による効率的な収集
(古紙類の収集日統合)
- 重点施策 2-3
クリーンセンターへの直接搬入ごみの受入制限対策
(粗大ごみや破碎ごみ類の搬入量増加への対策)
- 重点施策 2-4
高齢者等ごみ出し支援制度
(ごみ出しが困難な方への支援)

案

案

- 一般施策 1-1
発生抑制施策
(食品ロス・生ごみの削減、使い捨て製品の削減 等)
- 一般施策 1-2
再利用施策
(リユース家具、リユースマーケット 等)

- 一般施策 2-1
資源化(分別)施策
(分別啓発、集団回収の促進 等)
- 一般施策 2-2
適正処理対策
(搬入検査・事業者指導 等)

共通施策 (教育・学習機会の充実)

主な一般施策

推進方策

市民・事業者・行政の協働

【課題5】